

授業科目(ナンバリング)	教育心理学 (QA222)		担当教員 担当形態		柳 智盛 単独					
教員免許状取得のための選択の別	必修		単位数	2単位	開講年次	2年	展開方法	講義	開設時期	前期
科目	教育の基礎的理解に関する科目									
各科目に含めることが必要な事項	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程（障害のある幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程を含む。）									
授業のねらい									アクティブラーニングの類型	
本講義では、幼児児童生徒の心身の発達や人格形成など教育と関連する基本的な心理学的な知識を学修する。また、教育現場での「指導」「教育」「支援」とはどういうことか、どうあるべきかについて考える力を身につけ、各発達段階における心理的特性を踏まえた学習活動を支えることができる教育者としての資質をより高めることを目標とする。									③⑤⑩	
ホスピタリティを構成する能力	学生の授業における到達目標					評価手段・方法		評価比率		
専門力	学習活動に関する心理的理論を適切に理解し、それをを用いて説明ができる。					・定期試験 ・課題レポート		40% 5%		
情報収集、分析力	幼児児童生徒の発達や学習の諸相について調べ、心理学的視点から発達上の諸問題を指摘することができる。					・定期試験 ・課題レポート		10% 5%		
コミュニケーション力	教育現場において幼児児童生徒の諸問題について、グループワークを通して表現することができる。					・グループワーク		10%		
協働・課題解決力	教育現場での幼児児童生徒の発達問題とその解決について自らの考えを述べることができる。					・定期試験 ・課題レポート		10% 5%		
多様性理解力	幼児児童生徒の多様性を理解し、教師として具体的にどのように接していくのかなどを考える力を培うことができる。					・定期試験 ・課題レポート		10% 5%		
出席						受験要件				
合計						100%				
評価基準及び評価手段・方法の補足説明										
<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期試験の成績を70%とし筆記試験を行う。課題レポートは、適宜授業終了時の感想シートの内容を20%とし評価し、次回の授業で課題レポートの内容をフィードバックする。グループワークは、授業中に適宜に行うグループワークへの参加度・発言などを10%とし評価する。</li> <li>・定期試験は、選択形式と記述形式で問う。選択形式では、教育心理学に関する基本的な概念についての理解を評価する。特に児童生徒の各発達段階における生じる諸問題についての理解がどの程度できているかを評価する。記述形式では、設問に対してどの程度主体的かつ丁寧に自分の意見を述べるができるかを評価する。</li> </ul>										
授業の概要										
<p>授業の概要：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教育と心の関係や学習心理学・認知心理学を活用した指導について理解。</li> <li>・心の問題や不適応な児童生徒の理解と指導、教師の心理について理解。</li> </ul> <p>授業の進め方：</p> <p>基本的にはテキストに沿った板書による講義を中心とするが、適宜プリントを配布するなどして理解を促す。また、参加人数に応じてグループワークによるディスカッションなども積極的に取り入れ、参加型の学習を目指す。この授業の標準的な1コマあたりの授業外学修時間は、180分とする。</p>										
教科書・参考書										
<p>教科書：北尾倫彦他著『学校教育の心理学－明日から教壇に立つ人のために－』北大路書房</p> <p>参考書：授業の中で適宜紹介していくため準備は必要ないが、復習に役立てること。</p> <p>指定図書：北尾倫彦他著『学校教育の心理学－明日から教壇に立つ人のために－』北大路書房</p>										
授業外における学修及び学生に期待すること										
<p>児童生徒の教育や発達に関心をもって授業に取り組んでほしい。授業でも日常的なトピックを随時取り入れていくので、日頃からニュースなどを積極的に視聴して常に社会に目を向けてほしい。教育に携わる者として、社会からどんな姿勢が求められるのかを考えながら授業に臨んでもらいたい。</p>										

回	テーマ	授業の内容	予習・復習
1	学校の中の子どもたち	学習者としての子どもの現状、および生活の場としての学校からみた子どもたちの現状を理解する。	予習：「学校の中の子どもたち」のテキスト該当箇所を読む。 復習：上記テーマの振り返り。
2	子どもの発達と教育 (1)	発達と教育がどのようにかかわっているかを概説的に理解し、子どもの知覚の発達の様相と特徴について学ぶ。	予習：「子どもの発達と教育」のテキスト該当箇所を読む。 復習：上記テーマの振り返り。
3	子どもの発達と教育 (2)	子どもの思考とことば、社会性についての発達の様相と特徴を理解する。	予習：「子どもの発達と教育」のテキスト該当箇所を読む。 復習：上記テーマの振り返り。
4	子どもの発達と教育 (3)	子どもの性格形成、自己の形成についての様相と特徴を理解する。	予習：「子どもの発達と教育」のテキスト該当箇所を読む。 復習：上記テーマの振り返り。
5	学校学習の心理と指導 (1)	学習の動機づけや学習における情報処理のプロセスについて理解する。	予習：「学校学習の心理と指導」のテキスト該当箇所を読む。 復習：上記テーマの振り返り。
6	学校学習の心理と指導 (2)	メタ認知、読解のプロセス、算数学習の指導について理解する。	予習：「学校学習の心理と指導」のテキスト該当箇所を読む。 復習：上記テーマの振り返り。
7	学校学習の心理と指導 (3)	総合的な学習の時間のねらいや考え方の理解、学級指導における集団特性や機能、教師のリーダーシップについて学ぶ。	予習：「学校学習の心理と指導」のテキスト該当箇所を読む。 復習：上記テーマの振り返り。
8	不応児の理解と指導 (1)	学校不応や不登校の概念や現状について理解と対応を学ぶ。	予習：「不応児の理解と指導」のテキスト該当箇所を読む。 復習：上記テーマの振り返り。
9	不応児の理解と指導 (2)	いじめと非行、学習の遅れがちの子への理解と対応について学ぶ。	予習：「不応児の理解と指導」のテキスト該当箇所を読む。 復習：上記テーマの振り返り。
10	不応児の理解と指導 (3)	発達の遅れがちの子への理解と対応、心理療法の実践について学ぶ。	予習：「不応児の理解と指導」のテキスト該当箇所を読む。 復習：上記テーマの振り返り。
11	教育評価と心理検査の活用 (1)	教育評価のあり方を考え、なんのために評価をするのか、どのような評価方法があるのかについて学ぶ。	予習：「教育評価と心理検査の活用」のテキスト該当箇所を読む。 復習：上記テーマの振り返り。
12	教育評価と心理検査の活用 (2)	評価のための資料集の方法、心理検査の種類と活用法について学ぶ。	予習：「教育評価と心理検査の活用」のテキスト該当箇所を読む。 復習：上記テーマの振り返り。
13	教育評価と心理検査の活用 (3)	評価における個人差と個性、個人差と指導形態について学ぶ。	予習：「教育評価と心理検査の活用」のテキスト該当箇所を読む。 復習：上記テーマの振り返り。
14	子ども理解と教師の心理 (1)	子どもへの指導と支援、教師のストレスとメンタルヘルスについて考える。	予習：「子ども理解と教師の心理」のテキスト該当箇所を読む。 復習：上記テーマの振り返り。
15	子ども理解と教師の心理 (2)	教師としての成長を促す授業運営の態度・技能、研修活動について学ぶ。	予習：「子ども理解と教師の心理」のテキスト該当箇所を読む。 復習：上記テーマの振り返り。
16	定期試験	筆記試験	試験の準備学修